

第241回 教育研究評議会（定例） 議事要旨

日時 令和4年1月20日（木） 13:39～15:06
場所 Web会議

（前回議事要旨確認）

第240回教育研究評議会（定例）（R3.12.16開催）

議題1. 「国立大学法人鹿児島大学教育研究評議会における学長候補適任者の選考に係る申合せ」の一部改正について（資料1）

議題2. 国立大学法人鹿児島大学業務方法書の変更の認可申請について（資料2）

議題3. 国立大学法人鹿児島大学コンプライアンス推進に関する規則の一部改正等について（資料3）

議題4. 第4期中期目標（原案）・中期計画（案）について（資料4）

報告事項1. 令和3年度コンプライアンスに関する研修の受講状況について（資料5）（資料画面共有）

報告事項2. 共同研究講座「DDS創薬学共同研究講座」の設置について（資料6）

報告事項3. 寄附講座「運動器再生学講座」及び「街・海・宇宙からみるプラスチックごみ監視システム研究講座」の設置について（資料7）

報告事項4. 令和4年3月卒業（修了）予定者の進路状況について（12月1日現在）（資料8）

報告事項5. 大学入学者選抜における出題・合否判定ミス等の防止について（資料9）

報告事項6. 「鹿児島大学IRセミナー」の開催について（資料10）

報告事項7. 鹿児島大学博士研究員支援プログラム（Kagoshima University postDoctoral REsearcher ProgrAM : KU-DREAM）について（資料11）

報告事項8. 鹿児島大学研究准教授の称号の付与について（資料12）

報告事項9. 学生の留学渡航期間短縮について（資料13）

報告事項10. 委員会報告（開催済）

（教育）

① 令和3年度第9回教務委員会（R3.12.20）（資料14）

② 令和3年度第8回ファカルティ・ディベロップメント委員会（メール会議：R3.11.9～11.11）
（資料15）

③ 令和3年度第9回ファカルティ・ディベロップメント委員会（R3.11.25）（資料16）

④ 令和3年度第8回共通教育委員会（R3.12.24）（資料17）

⑤ 令和3年度第11回学生生活委員会（R3.12.13）（資料18）

（入試）

⑥ 令和3年度第10回入試委員会（R3.12.17）（資料19）

その他

1. 新型コロナウイルスの現在の対応状況等について（資料20）

[出席委員] 24名

佐野学長

（理事）馬場、越塩、岩井、武隈

（副学長）渡邊

（学部長等）松田、有倉、岡村、橋口（照）、西村、木下、橋本、佐久間、三角、石塚、山口（明）、山崎、
中原、寺田、久保田、橋口（知）、森

(事務局長) 田頭

[欠席評議員] 0名

(理事)

(副学長)

(学部長等)

(事務局長)

[オブザーバー]

日高監事

(副学部長等) 藤内、山口(武)、小山、赤崎、田口、川畑、寺岡、上西、三好、二宮、田川

冒頭、令和3年12月16日開催の第240回(定例)教育研究評議会の議事要旨(案)の確認が行われ、原案どおり了承された。

議題1. 「国立大学法人鹿児島大学教育研究評議会における学長候補適任者の選考に係る申合せ」の一部改正について(資料1)

学長から、「国立大学法人鹿児島大学教育研究評議会における学長候補適任者の選考に係る申合せ」の一部改正について諮られ、越塩理事から、令和4年4月1日付け施行の国立大学法人法の改正及び書面主義、押印原則等への対応に伴い、教育研究評議会における学長候補適任者の選考に係る申合せの改正を行うこと、学長選考会議委員の意見も反映し学長選考会議で審議する規則等と同様の改正内容であること、施行日は令和4年4月1日であること等資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。

議題2. 国立大学法人鹿児島大学業務方法書の変更の認可申請について(資料2)

学長から、国立大学法人鹿児島大学業務方法書の変更の認可申請について諮られ、越塩理事から、国立大学法人法施行規則の一部を改正する省令の公布及び法令改正に伴う各国立大学法人等の業務方法書の変更に基づき、業務方法書を変更すること、施行日は令和4年4月1日であること等資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。

議題3. 国立大学法人鹿児島大学コンプライアンス推進に関する規則の一部改正等について(資料3)

学長から、国立大学法人鹿児島大学コンプライアンス推進に関する規則の一部改正等について諮られ、越塩理事から、コンプライアンス事象に関する調査結果の報告等の規定を設けることに伴い、コンプライアンス推進に関する規則を改正すること、コンプライアンス事象に関する調査委員会要項を制定すること、施行日及び実施日は役員会承認日であること等資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。

議題4. 第4期中期目標(原案)・中期計画(案)について(資料4)

学長から、第4期中期目標(原案)・中期計画(案)について諮られ、岩井理事から、国立大学法人評価委員会から示された「国立大学法人の中期目標及び中期計画の素案についての意見等」も踏まえ、第4期中期目標(原案)・中期計画(案)を取りまとめたこと等資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。

なお、本件は学内の各種会議を経ることとし、今後の修正は学長一任とすることが確認された。

また、日高監事から、予算、収支計画及び資産計画の作成が必要である旨発言があり、事務局長から予算計画は各年度3月に作成している旨説明があった。

報告事項 1. 令和 3 年度コンプライアンスに関する研修の受講状況について（資料 5）（資料画面共有）
越塩理事から、本日までの令和 3 年度コンプライアンスに関する研修の受講状況について、資料に基づき説明があった。

報告事項 2. 共同研究講座「DDS 創薬学共同研究講座」の設置について（資料 6）

岩井理事から、共同研究講座「DDS 創薬学共同研究講座」の設置について、大学院医歯学総合研究科に共同研究講座「DDS 創薬学共同研究講座」（設置申請者：祐徳薬品工業株式会社）を設置すること、設置期間は令和 4 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日までの 5 年間であること等資料に基づき説明があった。

報告事項 3. 寄附講座「運動器再生学講座」及び「街・海・宇宙からみるプラスチックごみ監視システム研究講座」の設置について（資料 7）

岩井理事から、寄附講座「運動器再生学講座」及び「街・海・宇宙からみるプラスチックごみ監視システム研究講座」の設置について、大学院医歯学総合研究科に寄附講座「運動器再生学講座」（設置申請者：医療法人 術徳会）を設置すること、設置期間は令和 4 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日までの 3 年間であること、また、大学院理工学研究科に寄附講座「街・海・宇宙からみるプラスチックごみ監視システム研究講座」（設置申請者：木村真也 氏）を設置すること、設置期間は令和 4 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日までの 5 年間であること等資料に基づき説明があった。

なお、馬場理事から、寄附講座で設置されている講座も、今後は必要に応じて共同研究講座へ変更する必要がある旨発言があった。

報告事項 4. 令和 4 年 3 月卒業（修了）予定者の進路状況について（12 月 1 日現在）（資料 8）

武隈理事から、12 月 1 日現在の令和 4 年 3 月卒業（修了）予定者の進路状況について、資料に基づき説明があった。

報告事項 5. 大学入学者選抜における出題・合否判定ミス等の防止について（資料 9）

武隈理事から、大学入学者選抜における出題・合否判定ミス等の防止について、12 月 23 日付け文書で各部局長へ通知したこと等資料に基づき説明があった。

報告事項 6. 「鹿児島大学 IR セミナー」の開催について（資料 10）

馬場理事から、鹿児島大学 IR セミナーを、2 月 10 日（木）14 時 30 分から、特任教授（山形大学 学術研究院 教授（企画評価・IR 担当））の浅野 茂氏を講師としてオンライン開催すること等資料に基づき説明があった。

報告事項 7. 鹿児島大学博士研究員支援プログラム（Kagoshima University postDoctoral REsearcher ProgrAM : KU-DREAM）について（資料 11）

馬場理事から、鹿児島大学博士研究員支援プログラム（Kagoshima University postDoctoral REsearcher ProgrAM : KU-DREAM）について、博士の学位取得者で優れた研究能力を有し、本学において研究に専念することを希望する者をポスドク研究員（KU-DREAM 研究員）として採用し、受入れ研究室において必要な研究環境（スペースや研究費）及び身分（給与）を提供し、本学の基礎科学研究力の向上に貢献することを目的とすること、研究分野は自然科学の研究分野とし臨床研究は対象外とすること、年度当たり最大 3 名の人件費（約 1,500 万円）及び研究費（450 万円）の予算措置であること等資料に基づき説明があった。

なお、日高監事から、募集要項、運用申合せ及び審査要項の作成ではなく規則化を検討するべきである旨発言があり、学長から担当部署で規則化を検討する旨発言があった。

報告事項 8. 鹿児島大学研究准教授の称号の付与について（資料 1 2）

馬場理事から、鹿児島大学研究教授及び研究准教授の称号付与制度による研究准教授の称号付与に係る申請者が 2 名おり、2 名の研究准教授の称号を 1 月 1 日付けで付与したこと等資料に基づき説明があった。

報告事項 9. 学生の留学渡航期間短縮について（資料 1 3）

馬場理事から、学生の留学渡航期間短縮について、特段の事情があつて留学を希望する学生に限り、留学期間を 3 か月以上の場合でも渡航を認めること、ただし、学生の海外渡航に係る手続きは、従来どおりとし、オミクロン株の流行など渡航先の国・地域の感染症の感染状況やテロなどの安全性状況を考慮した上で、所属部局が教授会等により、渡航の安全性について十分に確認した上で可否判断を行い、可と判断した事例について、危機管理委員会に所定の書類を提出する流れとすること等資料に基づき説明があった。

報告事項 1 0. 委員会報告（開催済）

学長から、下記①から⑥の委員会については、開催済みであり、各部局関係委員から確認願いたい旨の発言があった。

（教育）

- ① 令和 3 年度第 9 回教務委員会（R3. 12. 20）（資料 1 4）
- ② 令和 3 年度第 8 回ファカルティ・ディベロップメント委員会（メール会議：R3. 11. 9～11. 11）
（資料 1 5）
- ③ 令和 3 年度第 9 回ファカルティ・ディベロップメント委員会（R3. 11. 25）（資料 1 6）
- ④ 令和 3 年度第 8 回共通教育委員会（R3. 12. 24）（資料 1 7）
- ⑤ 令和 3 年度第 11 回学生生活委員会（R3. 12. 13）（資料 1 8）

（入試）

- ⑥ 令和 3 年度第 10 回入試委員会（R3. 12. 17）（資料 1 9）

その他

1. 新型コロナウイルスの現在の対応状況等について（資料 2 0）

越塩理事、武隈理事、石塚副病院長及び事務局長から、各担当の新型コロナウイルスの現在の対応状況等について、資料に基づき説明があった。

次回の教育研究評議会（定例）は、令和 4 年 2 月 17 日（木）13 時 30 分からとなった。